

インド太平洋地域における海上保安能力向上支援のあり方

～東南アジア諸国の反応を踏まえた QUAD 連携による能力向上支援の取組み～

第 156 回運輸政策コロキウム ～ワシントン・レポート X V II～

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所において、『インド太平洋地域における海上保安能力向上支援のあり方～東南アジア諸国の反応を踏まえた QUAD 連携による能力向上支援の取組み～』と題し、第 156 回運輸政策コロキウムを開催致します。

ご関心をお持ちの皆様におかれましては、オンライン配信にてぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。また、皆様の身近でご参加頂けるような方々に広くご周知いただければ幸いです。

なお、ご参加に際しては、大変恐縮ですが、下記の申込専用 URL からお手続き下さい。

敬具

記

○第 156 回運輸政策コロキウム ～ワシントン・レポート X V II～

インド太平洋地域における海上保安能力向上支援のあり方

～東南アジア諸国の反応を踏まえた QUAD 連携による能力向上支援の取組み～

日 時：2023 年 9 月 12 日（火）10:00～12:00

会 場：オンライン配信（Zoom ウェビナー）

1 発表およびコメント

発 表 者：小松 大祐 ワシントン国際問題研究所 研究員

コメンテーター：古賀 慶 南洋理工大学（シンガポール）

社会科学部・公共政策国際関係学科 准教授

2 ディスカッション

コーディネーター：辰巳 由紀 キヤノングローバル研究所主任研究員

スティムソンセンター・シニアフェロー・

東アジア共同部長、日本部長

参加者：発表者およびコメンテーター

参 加 費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/collo230912>

（申込期限：9 月 8 日（金）まで）



※お申し込みいただいた方には、9 月 11 日（月）に視聴用 URL を送付いたします。

概要：

中国の海洋進出やロシアによるウクライナ侵攻など、一層混迷を極める安全保障環境において、我が国が主導する自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の実現は喫緊の課題となっている。現在、FOIPの実現に向けた日米豪印（QUAD）による取り組みの一として、インド太平洋地域諸国に対する海上保安能力向上支援が注目されている。他方、インド太平洋諸国の中には、中国への経済的な依存、米中対立に巻き込まれるリスクといった要因から、QUAD支援の受け入れに消極的である国も存在する。

本コロキウムにおいては、まず、小松研究員から、研究成果（QUAD連携による海上保安能力向上支援のメリットと課題）を発表する。続いて、我が国海上保安庁が長年に亘って能力向上支援を実施してきた東南アジア諸国に焦点を当て、同地域の専門家から、日本又は日米連携による能力向上支援に対する反応や受け止めについて講演した上で、小松研究員の発表にコメントする。これを受けて、米国のインド太平洋戦略に触れながら、日本と東南アジアの今後の関係について議論を広げ、QUAD連携支援の可能性をはじめとした海上保安能力向上支援のあり方について議論する。

発表者：小松 大祐 ワシントン国際問題研究所 研究員



2000年に海上保安庁入庁後、政務、法務、国際業務等に従事。2018年から2020年まで、国土交通省大臣官房秘書室（大臣室）に出向。2020年8月から東京海上保安部航行安全課長として、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会における東京港内の船舶交通の安全確保等に従事。2022年4月より運輸総合研究所に出向し、同年5月よりワシントン国際問題研究所に赴任。海上保安大学校卒業、タフツ大学フレッチャー法律外交大学院修了（MALD）。

コメンテーター：古賀 慶 南洋理工大学(シンガポール)社会科学部・公共政策国際関係学科 准教授

米タフツ大学フレッチャースクール卒業（国際関係博士）。全米アジア研究所（NBR）フェロー（非常勤）、平和・安全保障研究所研究委員を兼任。ウィルソン・センター・ジャパンスカラー、CSIS 客員研究員等を歴任。2022年より学科長。近著に、Managing Great Power Politics: ASEAN, Institutional Strategy, and the South China Sea (Palgrave, 2022), “Institutional Dilemma : Quad and ASEAN in the Indo-Pacific” (Asian Perspective, 2023)や「ASEAN アーキテクチャにおける『信頼醸成』」(国際安全保障, 2022)がある。



コーディネーター:辰巳 由紀
キャノングローバル研究所主任研究員
スティムソンセンター・シニアフェロー・東アジア共同部長、日本部長



辰巳由紀氏は、スティムソンセンターのシニアフェロー、東アジアプログラム共同ディレクター、日本プログラム・ディレクターである。2009年からキャノングローバル研究所に属し、2012年から同研究所で主任研究員（非常勤）を務めている。過去には、戦略国際問題研究所（CSIS）研究員、在ワシントン日本国大使館政務担当専門調査員を務めていた。主な著書にLost in Translation? U.S. Defense Innovation and Northeast Asia (Stimson Center, 2017)がある。2009年中曾根康弘奨励賞受賞。2012年には、日米の相互理解の促進に貢献したとして、国家戦略室より感謝状を授与された。東京都出身。国際基督教大学で教養学士号を、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究大学院（SAIS）で国際経済学とアジア研究の修士号を取得している。

主なSDGs関連項目



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所 担当：小御門、小林

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 (UD 神谷町ビル)

TEL : 03-5470-8415 FAX : 03-5470-8401

E-mail : collo2@jttri.or.jp

HP : <https://www.jttri.or.jp/>